

環境への取り組み

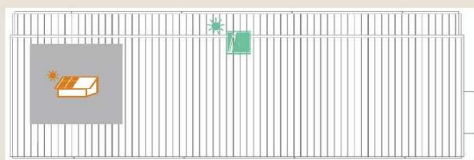
高麗川コミュニティパークは計画の初期段階から地球環境に寄与できる公園を目指してきました。以下に挙げる様々な取り組みによって、最先端の環境に配慮した公園施設が実現しました。

1 管理棟建物への LEED 認証取得 環境性能評価システムの導入



高麗川コミュニティパーク管理棟では、環境配慮の取り組みとして LEED 認証（新築版・ゴールド）を取得しています。

LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) 認証は省エネと環境に配慮した建物や敷地利用を図り、環境負荷を減らすとともに、心身の健康に良い環境づくりを目指す建物の認証制度です。



<屋根>



<1F 平面図>



エネルギーシミュレーションでは、約42%のエネルギーの使用量削減(対コスト)が可能です。特にLED照明の採用が多くのエネルギーの削減につながっています。



自転車などを利用して通勤する人のためにシャワー室を設けています。(節水タイプを採用)



紙、段ボール、ガラス、プラスチックや金属等のリサイクルゴミの収集・保管のためにゴミ庫を設けています。

再生製品の利用 & 地場産材の利用

建築材に再生材料を少なくとも10%、及び地場産材(敷地から約800km以内)を20%以上使用しています。

建設中の汚染防止

地域環境負荷(土壌汚染、水路内堆積物、粉塵)の影響を最低限に抑える建設プロセスを計画し、実行しました。



自然光を建物に取り入れ、建物内の明るさと快適性を向上させています。



太陽光発電による再生エネルギーを使用。エネルギーシミュレーションでは、1年間の光熱費の少なくとも16%に相当するエネルギーを発電する試算。



節水型機器の導入で基準の約43%の節水を実現。(低流量便器、節水手洗い蛇口などを採用。)試算では、建物が使用する水の年間消費量を約15キロリットル削減(1.5l x 1000 本分程度)することが可能です。



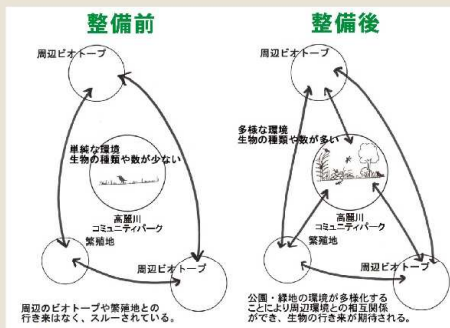
健康を害さないために建物から7.5m 範囲を禁煙にしています。また、快適性の向上のため、全ての占有空間に対して、外気供給量をASHRAE62.1-2007 が要求する最低基準より少なくとも30%を超えるように設定しています。

※ ASHRAE とは、アメリカ暖房冷凍空調学会のことを指し、高麗川コミュニティパーク公園管理棟では、LEEDが要求するASHRAEの各基準を満たしています。

2 生物多様性への配慮

生物多様性とは、生きものの種類が豊富なだけでなく、遺伝子も多様であり、生きものの住めるいろいろな環境が存在することです。草丈の高さを変えるなど、異なる環境を創出することで、生息する生きものや植物の種類も変化します。全体として生物多様性への配慮を意識したゾーニングを行っています。

管理する草丈の高さをエリアごとに変えるだけで、創出される環境も変化します。



自然度が少しずつ
高くなっていくゾーニング

節水型ランドスケープ

湯水に強い在来種または環境に適応できる品種を選択しています。また、灌水のための上水利用を削減します。

雨水処理デザイン-質的コントロール

雨水に混入している不純物を削減する管理計画を実施しています。雨水の適切な処理と地域の下水道に流入する汚染物質の減少させることで、環境に配慮しています。

低ガス排出または低燃費自動車駐車場

2台分を専用駐車スペースとして計画しています。低ガス排出車または低燃費車でお越しの方は、環境配慮に貢献していることで専用駐車場の使用が認められます。

にぎわい・交流ゾーン

建設廃材のマネジメント

建設時に、通常埋め立て処分される廃棄物の90%を超える量を、リサイクルに回しました。

3 在来種を活用した緑化

公園整備前に実施した草本調査によれば、さまざまな草本植生が対象地内に分布することがわかりました。元々生息していた植物を保全するとともに、対象地の在来種を緑化資材として活用しました。



表土採集の状況



採集したノジスミレ個体



育苗の様子



植え付け時



植栽後



ヨメナ



ヘビイチゴ

お問い合わせ



入西東部土地区画整理組合

株式会社 サポート

〒110-0016

東京都台東区台東 4-29-8 こうしんビル 6F



03-3831-3981

www.support-c.co.jp



環境への取り組み

高麗川コミュニティパーク
Komagawa Community Park